

**Q. 月2回の収集だと収集日を忘れてしまうので、もっと収集回数を増やせないの？**

**A.** 収集回数を増やした場合、収集費用や収集車両からの二酸化炭素排出量も増えてしまいます。

昨年11月から12月に市民アンケートを実施した結果、61.5%の人から「現在の月2回のままで良い」との回答がありました。今後も、回収量の推移などを踏まえて、引き続き収集回数を検討していきます。

**Q. プラスチック専用の指定袋に入れて出しても、結局は燃やしているのでは？**

**A.** 集積所から収集したプラスチック専用の指定袋は、選別する施設へ運んだ後、異物などを取り除き、(公財)日本容器包装リサイクル協会へ引き渡します。そこで、新しいプラスチック製品に生まれ変わっています。

昨年度は、渋川地区広域圏全体で約500tのプラスチックがリサイクルされました。

**Q. どんなものが収集できないの？**

**A.** プラスチック以外の素材(充電式電池や金属など)が付いているものや、長さが50cm以上のものは、リサイクルできないため、収集できません。

実際に出された収集できないものの例



市ホームページには、プラスチックの分別収集に関するQ&Aを掲載しています。ごみ出しの参考にしてください。



▲市ホームページはこちら

**プラスチックの出し忘れを防ぐため、市公式LINEの「ごみ出し通知」機能のご利用を！**

住んでいる地域を市公式LINEで登録すると、家庭ごみの分別区分ごとに、収集日前日の午後6時に、右図のような通知が届きます。LINEの設定方法などの詳細は、右下の2次元コードを確認してください。



◀設定方法などはこちら



昨年4月から始めたプラスチック分別収集について、半年ごとの収集量の推移を見ると、右表のとおり少しずつ増加しています。一方で、市民の皆さんからさまざまな問い合わせがあることから、特に多い疑問と回答内容をお知らせします。燃えるごみの減量とリサイクルのため、引き続き、分別収集にご協力をお願いします。

詳しくは、環境森林課(☎2114・ホームページID=11151)へ。

半年ごとのプラスチック収集量の推移

時期	プラスチック収集量	前期からの増加量
令和6年度上半期	157.4t	-
令和6年度下半期	166.5t	+9.1t
令和7年度上半期	171.6t	+5.1t

**Q. トレーや容器についた食品汚れは、きれいに洗わないといけないの？**

**A.** ペットボトルの出し方と同じように、水ですすぐ程度に洗うか、汚れをふき取るだけで問題ありません。固形物が残っていなければ、多少の汚れがあっても出すことができます。また、市ホームページに、汚れを落とすポイントなどを解説した「1分間動画辞典」を掲載しています。右の2次元コードから確認できますので、ご覧ください。



**Q. なぜ、プラスチックの分別収集が必要なの？**

**A.** 市のごみの排出量は、減少傾向にありますが、ごみのリサイクル率は低い状態です。その理由の一つとして、プラスチックを燃えるごみで収集し、焼却していたことが挙げられます。分別収集を進めることで、リサイクル率を向上させ、さらには、燃えるごみの排出量を減らし、焼却する量を減らすことで二酸化炭素の排出量を削減し、脱炭素社会の実現に貢献するためです。